

心の栄養剤No152-1「天国から届いたランドセル」

幼くして父親を亡くした女の子が、小学校に入学するころのことでした。周りの子はみんな、親から買ってもらった赤いランドセルを背負って通学していました。しかし、その子の家庭は幼くして父親を亡くし母子家庭でしたから、ランドセルを買ってもらえるほどの余裕がなかったそうです。もちろん、家に余裕の無いことがわかっていたその子は、ランドセルがほしくて母親にねだることはできません。子どもながらに、それはお母さんを困らせてしまうことだとわかっていたからです。でも、毎日友達と通学していると、どうしても自分もあの赤いランドセルがほしくてほしくてたまらなくなります。通学路にあるお店のショーウィンドーに飾ってある、新品でピカピカの赤いランドセルをいつも眺めていたそうです。そんなある時、彼女は考えました。

「お母さんに迷惑をかけるわけには行かない。でも、私もあの赤いランドセルがほしい……。そうだ、お父さんをお願いしてみようきっとお父さんなら私の願いを叶えてくれるにちがいない!」そう思った彼女は、天国にいるお父さんに手紙を書くことにしました。

まだ、習いたてのひらがなで、一生懸命にお父さん宛にハガキをかきました。

「てんごくの おとうさんへわたしは、ことししょうがくせいになりました。べんきょうもがんばっています。いっぱいがんばって、おかあさんをたすけようとおもいます。だから、おとうさんにおねがいがあります。わたしに、あかいランドセルをください。いっぱい、いっぱい、べんきょうして、がんばるから。いいこにしているから。おねがいします。」

もちろん、天国へのハガキです。宛名は“天国のお父さんへ”と書いてポストに投函したそうです。そのハガキを集配し、郵便局の職員の方がそのハガキを見つけます。宛名は天国……。ハガキの表には、幼い彼女が一生懸命に書いたあの文章……。いつものように差出人不明で送り返すわけにも行かず、このハガキを手にとった職員がどうしたらいいんだろうと仲間の職員の方に相談したそうです。

「ねえ、見て、このハガキ…。どうしたらいいだろうか…。送り返すにはあまりにも残酷だよね」「う～ん……。そしたら、僕たちがこの子の天国のお父さんになろうよ」「えっ、どうやって」「仲間みんなにお願いしてさあ、ちょっとずつお金を出し合って、ランドセルを買ってあげようよ!」

そして、郵便局の職員のみんなで、ちょっとずつお金を出し合い、真っ赤なピカピカのランドセルを買うことにしました。そして、そのランドセルを小包にいれ、その郵便局の中で一番字の上手い人が代表して、お父さんのメッセージを書いて、その子の家に送ったそうです。

「〇〇ちゃん、お手紙ありがとう。お父さん、とってもうれしかったよ。いつも頑張っているのを天国から見ているからね。これからも、優しい人になってね。そして、お母さんを助けてあげようね。天国からいつも〇〇ちゃんのことを応援しているよ。ちょっと遅くなったけど、ランドセル贈るね!」

数日後、ランドセルとメッセージの入った小包が女の子のところに届きます。その女の子は飛び跳ねるように喜び、お父さんからランドセルをもらったと、はしゃいでいたそうです。そして、数年後この話を作文に書き、全国のコングールで入賞したそうです。

旅立ち～別れ～出会いの春です。私自身も人生を振り返ると・・・

「大きな挫折で打ちのめされた春」

「喜び感動で飛び跳ねた春」

いろんな春を桜の風景と共に思い出します！

ただ経験した・・・

「悲しさ」「苦しさ」「辛さ」「喜び」「楽しさ」「感動」

すべてが今の私の血となり肉となっているような気がします。確かに暦の上での一年のスタートは一月(お正月)ですけど・・・生活～仕事～学校等々、実質的一年の始まりは、春(四月)だと思います。春の暖かい日差しをエネルギーに変えて、希望を持って元気いっぱい～笑顔いっぱいの一年をスタートしましょう！！



心の栄養剤No152-2「積極的な心が人生を作る」

私たち人間が生きるということは、宇宙の何億という星の中にある「地球」に観光旅行に来ているようなものです。観光旅行は楽しまないで損です。だから人生ね悩まないほうがいいのです。私は、ある先生からこう言われました。

「君は1センチのものを1センチしかない物差しで測っていないか？1センチのものは1メートルの物差しで測っておけ。1センチが大して気にならなくなる。人生も、いつだって百年の物差しで測れ。そうしたら何も悩まんぞ」と。

人生は大きな尺度で測りましょう。つまらないことで悩むものじゃないですよ。私は日本を代表する哲学者・中村天風先生の本を読んで人生が180度変わりました。当時の私は恥ずかしい事に、どの方角に引っ越そうかということで悩んでいました。そしたら本にこんなことが書いてあったんです。

「北がいいとか南がいいとか、方位にこだわる人に大成した人を見たことがない。私、天風は問いたい。北極ではどうやって方位を説明する？北極に行けば北がなくなる」

「今日は大安で日がいいとか、仏滅で日が悪いと、日にこだわる人にも大成した人を見たことがない。私、天風は問いたい。仏滅の日には赤ちゃんは生まれないのか？仏滅だろうが大安だろうが、赤ちゃんは生まれてくる。仏滅の日に生まれたら生涯にわたって運がないのか？これも一切関係ないことだ。すべては積極的な心が人生をつくっていくのだ。」